



2011.11.18 No.26

いずも 市議会 だより

出雲市・斐川町合併記念式典



いずも市議会だより 第26号
発行日／平成23年(2011)11月18日
編集／広報委員会
発行／出雲市議会
〒693-8530 出雲市今市町70 TEL21-6579 FAX21-6251

- 出雲市・斐川町の合併2
斐川地域選出議員紹介
- 議会の動き3
- 委員会報告4
- 請願・陳情・意見書7
- 一般質問8
- 行政視察報告16
- 採決の結果16
- 議会活動・編集後記24



斐川支所の機構

- ・地域振興課 (空港対策室)
- ・産業振興課
- ・建設課
- ・税務課
- ・上下水道局斐川上下水道事務所
- ・市民生活課
- ・教育委員会斐川教育事務所
- ・健康福祉課
- ・斐川町農業委員会事務局

10月1日に、出雲市と斐川町が合併し、新しい出雲市がスタートしました。

10月1日に行われた合併記念式典では、宮本議長が「10年余りの長きにわたって議論が行われ、多くの紆余曲折を経ましたが、すべての議員にとっても、この合併は感慨深いものです。出雲市と斐川町の合併により、さまざまな機能を備えた人口17万5千人の都市となります。出雲圏域が一体化することによって、出雲市がより一層力強く、魅力ある地域になるよう、市議会も、市民の皆さまとともに力を合わせ、さらに努力します。」とあいさつをしました。

また、10月3日の斐川支所開庁式では、長岡市長、宮本議長、長廻副議長が、テープカットをして開庁を祝いました。

10月30日増員選挙(斐川選挙区)により 6名の議員が加わりました

10月30日に執行された増員選挙の結果、新たに6名の議員が加わり、出雲市議会議員は38名(欠員2名)となりました。

11月21日に開かれる臨時市議会で、新しい議員の常任・特別委員会の所属などを決定する予定です。委員会構成などは次号のいずも市議会だよりでお知らせします。

合併による新しい 市議会議員の紹介

斐川町との合併にともなう出雲市議会議員増員選挙(斐川選挙区)で、当選された新しい議員の皆さんです。議員紹介は、次号のいずも市議会だよりに掲載します。

- 伊藤 繁満
- 井上 恵夫
- 井原 優
- 大場 利信
- 多々納 弘
- 保科 孝充

(右から五十音順・敬称略)

・年賀状などのあいさつ状の禁止

公職選挙法により、議員は、当該選挙区の人に対し、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。(答礼のための自筆によるものは、除かれます。)

・葬儀の際の花輪、供花の禁止

公職選挙法により、葬儀の際に花輪、供花を相手方に対して出すことは禁止されています。

・代表焼香・弔電の自粛

出雲市議会では、申し合わせにより葬儀の際の「参列者代表焼香」、「弔電」を自粛しています。

皆さまのご理解をお願いします。

平成23年度 第4回 出雲市議会(定例会)

開会 平成23年(2011)8月31日(水)

閉会 平成23年(2011)9月29日(木)

会期30日間

8月31日(水) 本会議(開会、議案上程・説明)	9月14日(水) 予算特別委員会(1日目)
9月 2日(金) 本会議(一般質問・1日目)	15日(木) 予算特別委員会(2日目)
5日(月) 本会議(一般質問・2日目)	16日(金) 予算特別委員会(3日目)
6日(火) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)	20日(火) 予算特別委員会(4日目)
決算特別委員会	21日(水) 決算特別委員会(1日目)
8日(木) 総務委員会	22日(木) 決算特別委員会(2日目)
9日(金) 文教厚生委員会	26日(月) 決算特別委員会(3日目)
12日(月) 環境経済委員会	29日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)
13日(火) 建設水道委員会	

9月定例市議会 報告

平成22年度(2010)出雲市一般会計歳入歳出決算を認定するなど、162議案を議決しました。

議会の動き

9月定例市議会では、市長から斐川町との合併にともなう議案121件を含めた156件の議案が提案されました。

「平成22年度(2010)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について」などの決算議案20件について、適当と認め、認定しました。

また、「平成23年度(2011)出雲市一般会計第3回補正予算」などの予算議案12件、「出雲市の休日定める条例の一部を改正する条例」などの条例議案115件、「工事請負契約の締結について(有原住宅(第2期)建築工事)」などの一般議案9件が提案され、すべてを原案のとおり可決しました。

市農業委員会委員4名の推薦を行ったほか、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書」と「地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書」の2件を提出し、原案のとおり可決しました。

平成23年度 第3回 出雲市議会(臨時会)

平成23年(2011)8月2日(火)

本会議(開会、議案上程・説明、議案質疑、委員会付託、総務委員会、委員長報告、討論採決、閉会)

8月臨時市議会 報告

出雲医療看護専門学校用地に関する2議案を議決しました。

議会の動き

8月臨時市議会では、市長から出雲医療看護専門学校用地の「土地の取得について」と「財産の無償貸付について」の2件の議案が提案されました。その内容は、市が誘致をする出雲医療看護専門学校の用地として、出雲ガス跡地の土地を取得し、取得後にその土地を学校法人大阪滋慶学園に無償で貸し付けることについて、議会の議決を求めるものであり、両議案は原案のとおり可決しました。

常任委員会報告

年末年始の休日を12月29日から1月3日まで。斐川町との合併により職員定数削減計画を110人に

総務委員会

審査の付託を受けた案件は、議案44件、請願2件です。主なものとして、議第33号「出雲市の休日をも定める条例の一部を改正する条例」は、市の年末年始の休日の期間が、国・県や多くの他の自治体と1日ずれており市民生活に不便をきたすことがあったので、現行の休日をも「12月29日から翌年1月3日まで」に改めるため、改正を行うものです。原案のとおり可決しました。

部局の職員などの定数を改めるため、所要の改正を行うものです。原案のとおり可決しました。

なお、地方自治法に基づき職員定数を条例で定める趣旨からは、消防職員について定数を超えて運用されていたことは誠に遺憾である。また、斐川町との合併による今後10年間で110人を削減目標とする新たな計画と、職員定数条例の本来のあり方について、十分な検証が必要との意見がありました。

稗原児童クラブの設置・運営に関わる支援措置についての陳情を採択

文教厚生委員会

稗原地区では現在、子どもたちの健全育成のために、地区をあげて放課後児童クラブの設置に向け、準備が進められています。

このたび、稗原児童クラブ設置推進委員会から、放課後児童クラ

ブの設置と運営に関わる支援措置を求める陳情が提出されました。

本市における児童クラブの整備方針は、学校の余裕教室などの既存施設の活用を基本としています。施設がない場合は、国や市の

ガイドラインに基づき小学校の敷地内などで、できるだけ学校から近い場所へ施設の整備をするというものです。

委員会として、稗原地区における整備予定箇所を視察したところ、稗原小学校アリーナ2階のミーティング室を拡張し、15人規模の児童クラブ室にするというものでした。当地区は、放課後児童クラブが設置されておらず、また、女性の職場従事者が増える中で、子育ての支援対策が急務です。

これらのことから、本陳情については、全会一致で採択しました。

企業誘致・支援継続議案を可決

環境経済委員会

審査の付託を受けた案件は、議案35件、陳情1件です。

議第38号「土地の処分について」は、出雲市東部工業団地3番区画について、株式会社山陰一畑クッキングへ、工場用地として売却するため議決を求めるものです。審

査の結果、原案のとおり可決しましたが、今後の支援については、同業者への配慮についても慎重に行うようにとの意見がありました。

斐川町との合併関連の、議第142号「出雲市斐川地域における企業立地促進に関する条例」につい



児童クラブの整備予定箇所を視察（稗原小学校）

ては、斐川町企業立地促進条例により認定された企業に対する立地促進策、助成制度を合併後の出雲市において継承する必要があるため、新たに条例の制定をするものです。

一部の委員から、大手企業に対して、市が助成すべきではないとの意見がありました。また、大多数の委員は、企業への視察も行い、経済効果や雇用面での地域貢献は今後もとても大きいとの認識であり、合併後も当然継承すべきとの意見で、審査の結果、原案のとおり可決しました。



斐川町内の企業を視察

有原住宅建築工事、 4億8510万円で契約を可決

議第36号「工事請負契約の締結について」は、塩冶町に建設が予定されている有原住宅二期建築工事を、岩崎建設・あすなる相互建設特定建設工事共同企業体と、4億8510万円で契約を締結するもので、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めらるるものです。

委員の中から、今回の契約額は民間の同種の建築単価と比べて著しく高い。また、市内の民間住宅に空室が多くある中で、これ以上の市営住宅を整備する必要はないとして否決すべきとの意見があり

建設水道委員会

ました。担当者から、有原住宅一・二期工事、パークタウン住宅一・二期工事、県営・掛屋団地の建設にかか



有原住宅完成予想図（塩冶町）

る資料の提出を求め、説明を受けました。審査の結

果、原案のとおり可決しました。その他の、斐川町との合併にもなう条例議案16件、一般議案2

件についても原案のとおり可決しました。

特別委員会報告

斐川町土地開発公社の 土地取得に、一部反対の意見

予算特別委員会

補正予算12件について、委員会を開催し審査を行いました。

審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。なお、斐川町から

ものとして女流名人位戦の開催経費負担金、児童扶養手当給付費、総合医療センターのPET-CT検査助成や住宅用太陽光発電システム設置費補助金などの追加、赤川改修関連の用地取得費、5月、7月の大雨による農地、農業用施設、林道、道路及び河川の復旧工事費、湖陵簡易水道の上水道統合にともなう工事費の追加などです。

この結果、一般会計は、78億4819万1千円増の769億5719万1千円に、特別会計の合計では、49億3617万9千円増の446億9544万円となりました。

審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、斐川町との合併にともなう補正予算など8件は、「合併承継分（斐川町が通年予算で編成した予算のうち10月1日以降に執行すべき予算）」「合併調整分（10月1日以降の行政サービスの統一や事業・制度の適用範囲の拡大による予算）」で



収納対策に本腰を入れよ

決算特別委員会

平成22年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計および病院事業会計に付託されました。監査委員による決算審査意見書なども参考にしながら、各事業予算が適正かつ有効に執行されたかなどについて、審査を行いました。

平成22年度の決算概要を見ると、一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入が対前年度比1.4%減の107.4億3千万円、歳出が対前年度比2.4%減の105.1億4千万円、収支差引額は、22億9千万円で、これから翌年度へ繰り越すべき財源、2億6千万円を差し引いた実質収支額は、20億3千万円の黒字という結果でした。起債残高については、前年度よりも、23億8千万円、率にして1.2%の減少と改善の傾向ですが、類似団体と比較すると、まだ大きな開きがあり、引き続き、起債の削減努力が必要です。

一方、普通会計を対象とした財政状況の数値を見ると、財政力指数は、0.484と悪化傾向が続き、経常収支比率は89.9%と合併後初めて90%を割りましたが、まだまだ高率であり、依然として財政基盤が弱く、

弾力性に欠ける財政構造と言わざるを得ません。

審査の結果、一般会計および17の特別会計について、一部の委員から不認定とすべきとの意見がありましたが、認定すべきものと決定しました。

審査の過程において、各委員から次のような意見がありましたので、一部紹介します。

ふるさと融資貸付事業など、せっかく予算化された事業が十分執行されなかったり、老老介護支援事業など、本来の事業趣旨にそぐわない支出ではないかとの意見がありました。また、すべての事業について、前年度の実績をきちんと精査し、さらに厳しい査定を通して予算編成をし、適切な事業執行を心がけるべきとの指摘がありました。また、予算編成においては、前例踏襲型ではなく、真に市民にとって必要な事業であるか、その将来的展望や目的・手法などの検討が必要です。また、一般会計から国民健康保険事業特別会計に5億円の貸し付けが行われたが、本来は、返済計画をきちんと立てるべきではないかとの意見もありました。

次に、水道事業会計については、漏水対策や施設整備実施の見直し、収納対策を含めた営業努力など、長期的な視野で事業計画の変更など、様々な視点からの経営改善について、さらに努力すべきとの意見を受け認定しました。

病院事業会計については、患者数、病床の利用率とも前年度と比較して減少するなど、依然として大変厳しい状況が続いています。今後は、経営感覚に優れた事務局体制を再構築し、総合医療センター全職員の経営に対する意識改革を進めるとともに、収入確保、経費節減に向けて最大限の努力を求め、認定しました。

さて、今回の審査の中で、市民税、国保料、上下水道料金、診療料、保育料、市営住宅家賃など収入未済額および不納欠損額が前年度より大幅に増えているとの指摘がありました。収納対策について、具体的な工程表を示していただきたいとの意見に対し、市長から本年10月から収納課の中に特別滞納整理係を新設し、そこで専門的に、特に特殊なケースを専任で収納にあたっていく係を設けます。来年度以降の体制については、来年7月ごろに収納10か年計画を決めて、目標数値を設定したうえで、今後10年間の収納対策についての取り組みを明らかにしていく考えとの答弁がありました。

決算特別委員会

委員長 板倉 明弘
副委員長 川上 幸博
委員

木佐 宏 広戸 恭一
西村 亮 坂根 守
大国 陽介 山代 裕始
遠藤 力一 原 隆利
山根 貞守 多和田 康司
萬代 輝正 杉谷 寿之
曾田 盛雄

*1 財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を表す指標のことです。指数が高いほどその団体は財源に余裕があると言えます。平成21年度決算における島根県内の市町村平均は0.29、全国の市町村平均は0.55です。

*2 経常収支比率 地方公共団体の財政構造の弾力性を表す指標のことです。比率が低いほどその団体は財政にゆとりがあって、その団体独自の施策に使える財源があると言えます。平成21年度決算における島根県内の市町村平均は90.9、全国の市町村平均は91.8です。

*3 収入未済額 地方公共団体の歳入のうち、収入を予定していたにも関わらず、何らかの理由で会計年度終了までに納入されなかった金額のことです。

*4 不納欠損額 収入未済額のうち、時効が成立したなど、今後の徴収の見込みが立たないために、地方公共団体が徴収しないと「不納欠損処分」をした金額のことです。

請願・陳情の審議結果

【請願】

継続審査中の請願（平成22年度提出分）

請願番号	件名	提出者	審議結果
9	医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願	松江市浜乃木 島根県保険医協会 会長 古沢 正治	趣旨採択 に 賛成多数

継続審査中の請願（平成23年度提出分）

請願番号	件名	提出者	審議結果
1	子ども・子育て新システムに反対し、子育て支援の充実を求める請願（意見書提出）	出雲市大津町 全国福祉保育労働組合島根支部 執行委員長 野々村 静香	継続審査 に 賛成多数
	なぜ継続審査	国において引き続き審議中の内容であり、具体的な方向が示されてから詳細に審査すべきであるため。	

今回提出された請願

請願番号	件名	提出者	審議結果
3	2012年度（平成24年度）私立認可保育所関係予算等についての請願	出雲市大津町 出雲市認可保育所(園)理事長会 会長 原 成充 他1名	趣旨採択 に 賛成多数
4	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	出雲市今市町 全日本自治団体労働組合島根県本部 出雲市職員労働組合 執行委員長 岸 道三	採 択 に 全員賛成
5	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願（意見書提出）	松江市母衣町 島根県弁護士会 会長 熱田 雅夫	採 択 に 全員賛成
6	ポリオ不活化ワクチン早期導入など、予防接種改善に関する請願（意見書提出）	出雲市古志町 新日本婦人の会出雲支部 支部長 景山 祐子	趣旨採択 に 賛成多数

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
4	稗原児童クラブの設置・運営に関わる支援措置についての陳情	出雲市稗原町 稗原児童クラブ設置推進委員会 代表者 稗原自治協会 会長 飯島 昭人 他4名	採 択 に 全員賛成
5	平成23年度緊急要望事項及び出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 米原 稔 他1名	採 択 に 全員賛成

意見書の審議結果

【意見書】

意見書番号	件名	審議結果
2	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決 に 全員賛成
3	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	原案可決 に 全員賛成

市政のここが聞きたい 一般質問

9月定例会市議会では18人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

板倉明弘 議員 (9ページ)

◎出雲市自治基本条例(仮称)への疑問点を問う

板倉一郎 議員 (9ページ)

◎出雲市と斐川町との合併について
・出雲市の景気動向および今後の取り組みについて

米山広志 議員 (9ページ)

・わかあゆの里進入路橋
◎10月1日の斐川町との合併
・大社町ご縁広場

勝部順子 議員 (10ページ)

・介護保険
◎高齢者サービスの、更なる充実を
・学童保育

大国陽介 議員 (10ページ)

・原発と新エネルギーについて
・松枯れ対策は「空中散布」抜きで検討を
・「福祉タクシー」の改善を
・「ごみ出し」が困難な世帯へ支援を
◎5歳児健診の実施を

曾田盛雄 議員 (10ページ)

◎農業振興と整備計画について

遠藤力一 議員 (11ページ)

・福祉避難所について
◎災害時の緊急情報伝達にエリアメールの導入について
・学校教室などの空気中化学物質濃度測定検査について

西村 亮 議員 (11ページ)

◎有害鳥獣捕獲状況、対策について

杉谷寿之 議員 (12ページ)

◎県が実施する「神話のふるさと島根推進事業」と出雲市の対応

珍部全吾 議員

・医療系専門学校の出雲開校について
・今後の出雲市教育について

狩野正文 議員 (12ページ)

・出雲大社観光誘客推進について
◎向陽中学校開校に至るまでの諸準備について

木佐 宏 議員 (13ページ)

◎虚像長岡市政を斬る第4弾
職員の指揮命令系統が機能不全、末期症状現況執行体制を糾弾する
・出雲市の防災危機管理への組織の抜本的機構改革を提言する

松村豪人 議員 (13ページ)

◎これからの地方自治の姿とは。市長はどう考える

小村吉一 議員 (13ページ)

・生活扶助以下やその限界上で暮らす人々たちへの支援を求めて
◎科学の到達と危機管理に備える「原発学習」の必要性を求めて

飯塚俊之 議員 (14ページ)

・北東アジアからの観光客誘致について
◎出雲縁結び空港の周辺整備について

坂根 守 議員 (14ページ)

・フィンランド教育視察を出雲市でどう生かすのか
◎市営住宅はなぜ随時入居できないのか

板垣成二 議員 (15ページ)

◎森林再生に向けた取り組みについて
・集落応援隊について

山代裕始 議員 (15ページ)

・国際交流のあり方について
◎出雲市における特別支援教育の現状について

自治基本条例作成に当たっては、幅広く深い議論を尽くすべき

板倉 明弘



問

自分たちのまちは自分たちでつくるという自治意識の高まりは重要なことである。しかし、自らのまちをつくることに対しては一人ひとりが責任を持たなくてはならない。その責任をみんなが持てるような自治基本条例なのか。条例化することで自分たちを窮屈にしているか、考える点も数多くあると思う。責任と役割を法律で義務付けられた行政と議会が存在する中で自治基本条例がどのような役割を果たしているのか伺う。

市長

①この条例の制定により、市民自らが主体的に出雲のまちづくりに関わることにより、将来にわたって本市のまちづくりの基本原則の継続性が確保されるものと考えています。既存のまちづくり基本条例の趣旨を取り込む形で条例制定を考えています。

②住民投票制度は、十分議論を尽くしたうえで、その最終的な判断が難しい場合に市民にその是非を問うという仕組みを想定しています。また、その必要性が生じた際に速やかに市民の意思を直接確認できることから常設型制度の方が望ましいと考えています。

板倉 一郎



よりよい合併に向けて取り組みを

べき課題は何か伺う。

市長

①平成13年に、2市5町で、合併研

問

出雲市と斐川町の合併について次の点を伺う。①市長の所感を伺う。②合併後、どのような出雲市を目指すのか。③当面取り組み

総合政策部長

①斐川地域の皆さんや諸団体が連携を図り、地域の意見の調整や取りまとめを行い、より良いまちづくりを行うことを目的に、10月1日付で斐川町を一つの区域とする斐川地域自治区を置き「斐川地域協議会」を設置することになっています。斐川地

10月1日斐川町との合併、住民サービスが低下しないように

米山 広志



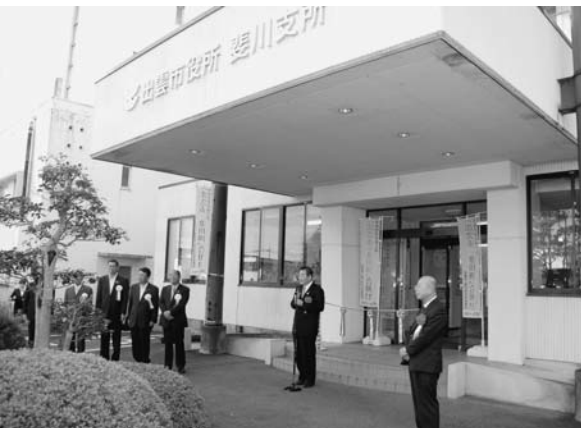
①合併後の住民サービスの低下を招かないため、市としてより良い住民サービスを提供していくための対策②合併以降も安定した行政運営を行うことが求められる。職員の健康管理について

問

行政の効率化にあたり、職員定数について現在の人員と将来の人員を伺う。

総務部長

消防・病院を除き1201人で、今後10年間に於いて110人を減じます。



斐川支所開庁式 (10月3日)

域の方々が合併にともなう不安や懸念がないよう、様々な機会を通じて新市の一体感の醸成につとめていく考えです。

②全職員を対象とした「メンタルヘルス研修」や臨床心理士による「心の健康診断」、精神科医による「メンタルヘルス相談」などの予防対策

をさらに充実させていきたいと考えています。また、各職場において管理職員が中心となって職員相互に常に健康状況を把握するよう努め、職員間でのコミュニケーションの円滑化を図り、心の病気の予防、早期発見につながるよう、努力していきます。

勝部 順子

老老介護サービスの更なる充実を望む



問 老老介護の負担軽減のため

に、生活支援サービスや高齢者福祉タクシー事業が開始された。期待を寄せているが対象者が限られているのが現状だ。①生活支援サービスの対象者の要件を要介護3以上から2以上に緩和し、拡充すべきだ。②高齢者福祉タクシーの対象要件も緩和し、もっと対象者の拡充を望む。

用実態の把握などを行った後、総合的に判断します。

問

市長はマニフェストの中で「老老介護支援制度の創設」を市民に約束されている。もっと対象者を緩和し、市民の声に応えるべきではないか。

市長

ご指摘の2事業は昨年10月からの実施で、十分な周知が出来ているのか、サービスが行き渡っているのか、資格基準はどうなのか、今年度末までの状況を見ながら、見直すべき点については見直していきます。



子どもたちの発達を保障し、現場の負担を軽減する「5歳児健診」の実施を

大国 陽介



問

保育園の関係者から5歳児健診を求める声が強まっている。発達障がいのある早期発見は、就学時の支援の見極めにもつながり、小学校でのフォローもやりやすくなる

と考える。現場で働く保育士からは「3歳児健診で問題がなくても4、5歳になつて心配なところが現れてくる場合があり、5歳児の健診があると良い。保育園から保護者に心配な点を伝えるのは医療の専門家ではないのでやりづらい。保護者の立場としても健診がある方がいいのでは」との声も聞いた。

保育現場の苦勞と就学時の保護者や先生方の負担軽減を考慮した時、5歳児健診は重要であり、出雲市でも実施されることを求める。

健康福祉部長

現在、5歳児健診は松江市、浜田市、川本町、美郷町、邑南町、隠岐の島町、知夫村で実施されています。5歳児健診は軽度の発達障がいの発見に有効とされていますが、本市では保育所や幼稚園への巡回相談などを活用し、円滑な就学支援を図る考えです。

教育長

3歳から就学前まで健診はなく、すき間である4歳あたりの健診が有効ではないかという教育関係者の意見もあります。5歳が良いのか4歳が良いのかわかりませんが、可能であればそうした健診は大変有効なことだと思えます。

農業振興と整備計画は

曾田 盛雄



問

出雲市の基幹産業である農業問題解決に向けては、食料の

安全保障、安定供給の観点から本腰を入れて取り組むことが課題と考え

健康福祉部長
①176世帯が対象で、122世帯が申請済みです。要介護3以上の方がいる非課税世帯を対象とした事業で、現行の要件で進めます。
②対象者要件の1つ、自家用車の所有については把握が難しく、実際の対象者の把握は困難です。要件の緩和については「公共交通システム検討委員会」での検討結果や事業の利

問

緊急速報エリアメールは、N T Tドコモ提供のサービス

災害時の緊急情報伝達に エリアメールの導入を

遠藤 力一



で、自治体から発信する災害避難情報と気象庁から配信される緊急地震

農林水産調整監
①現在、出雲市内に土地改良区は8団体、斐川町に1団体の9団体あります。土地改良区が事業主体で実施された把握できる昭和50年代以降では、出雲市土地改良区70億円、大社16億円、湖陵7億円です。その他の改良区の事業費の詳細については不

次の点について伺う。
◎土地改良区について
①本市と斐川町の改良区数と設立の時期、事業主体と工事額
②工事に対する地元負担金及び賦課金徴収の事務処理の実体
③土地改良区の統合方針
◎用排水路、排水ポンプなどの整備、改修問題について
④老朽化している用排水路の整備改修対策要望箇所数と工事見積額
⑤揚排水機ポンプ数と運転実態、負担、改修の実施計画の予算措置
◎斐川町との合併後の出雲市農業振興について
⑥当分の間は現状維持なのか、見直すべき点はあるのか。



老朽化した排水機場（園町）

明です。
②それぞれの土地改良区によって行われていきます。
③当面は困難と考えられますが要望があれば検討します。
④平成21年度で、150か所の要望があります。緊急的なものは逐次対応していきます。
⑤農業用排水路の整備、揚排水機場ポンプの修繕更新対策は、安全・安心のため年次的に計画、維持管理に努めます。
⑥合併後は、市・町の管理計画の統合を図り、適切な維持管理に努めます。

総務部長

本市の防災情報伝達は、防災行政

速報を、同社の携帯電話に強制的に配信するものである。
事前のメールアドレスの登録は不要で、受信側に使用料や通信料も新たに発生することはない。メールアドレスを用いないので配信先アドレスの管理も不要である。多数の携帯電話にメッセージの即時配信が可能で、回線混雑による影響を受けにくい仕様となっている。
災害情報を得る手段は多い方が安心だ。災害時の緊急情報伝達にエリアメールの導入をすべきだが、見解を伺う。

有害鳥獣捕獲状況、対策を問う

西村 亮



問
出雲市シカ対策基本計画によれば、平成25年度までには北山山地の生息頭数を180頭、湖北山地は0頭を目標に捕獲対策が講じられているが、目標にはほど遠く年々生息頭数が増えている状況である。

か。また、イノシシによる農作物への被害も年々増加しており、同様に被害防止対策・捕獲対策を伺う。

農林水産調整監

地域住民は、被害の拡大に対し不満が増大、行政の徹底した捕獲強化対策を切望している。今後の捕獲対策をさらに強化、平成25年度目標達成に向けた捕獲対策はいかがお考え

北山山地及び湖北山地でのシカ・イノシシによる農林作物被害は年々増加・拡大しており、深刻化している状況であり、シカ・イノシシ捕獲対策は喫緊の課題で、平成25年度、湖北山地において生息頭数0頭とす

無線、ケーブルテレビ、コミュニティFM、音声告知放送など、できるだけ多くの手段を用いて伝達していきます。
携帯電話向けには、「しまね防災メール」を位置付け、登録した方に情報を提供しています（登録者2351名）。これに対しエリアメールは、対象エリアにいる利用者に一斉に配信するもので、居住者でない一時滞在者にも、容易に情報提供できる情報伝達手段です。できるだけ早い時期に手続きを進め、防災情報伝達体制の充実を図ります。

ることを目標にしています。その達成に向けて努力しています。

本年度から狩猟期における捕獲奨励金の新設、通常の捕獲奨励金単価の増、狩猟免許にかかる助成、出雲市有害鳥獣被害対策協議会による国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業を活用しました。電気牧柵の補助、市の単独事業として、侵入防止施設などの補助、被害軽減の取り組み、捕獲体制の強化を図り、徹底した捕獲を行い、被害防止対策充実に努めます。



重点捕獲に出発(唐川町)

「県が実施する『神話のふるさと島根推進事業』と市の対応」

杉谷 寿之



問 ① 県の基本構想に対する市の考え方と今後の方針はどのようになるのか。

② 「神話のふるさと島根推進事業」が具体的に展開されてきている。市としての取り組みはどうか。

③ 県は「神話博しまね」を実行に移した。主会場は大社。平成の大遷宮を全面に打出し、古事記編纂1300年記念事業を推進している。市として組織を立ち上げ全面的な協力体制をつくるべきだ。

産業観光部長

「平成の大遷宮」と「古事記編纂

1300年」という歴史的な節目を契機として、島根が誇る自然、文化、歴史などを県・市・民間団体が一体となって全国に発信することに より「しまね」の存在感を全国にPRし、誘客の推進を 目指しています。市も



メイン会場となる古代出雲歴史博物館

県の基本構想にのっとり、神門通りの改修、観光案内板の整備、おもてなしのための環境整備や旅行プランの開発に取り組みます。現在、県や市内の商工団体、民間事業者と「出雲観光振興連絡会議」を作り施策の展開を協議しています。また、庁内

向陽中学校開校に至るまでの諸準備を問う

狩野 正文



問

向陽中学校の建設工事の安全祈願祭が8月25日に行われ、建設工事が始まった。平成25年4月の開校に向け、①生活バスの運行 ②教材備品の整備 ③PTA、後援会の設立 ④子どもたちの一体感の醸成など諸準備は進んでいるのか。

教育部長

① 伊野地区、東地区からの生活バスを利用した通学は、現在、生徒が利用している地合線の路線延長や新たな停留所を考えており、灘分地区からの生活バスの停留所についても向陽中学校付近に設置することを検討しています。

② 向陽中学校の教材備品については、旭丘中学校において、向陽中学校でも使用できるものを、廃棄するもの、新たに購入するものを備品台帳を基に整理・点検を行っているところ



向陽中学校校舎・屋内運動場建設工事の着手

り、開校時には、新たな組織が結成されるものと考えています。
④平成24年度からは、檜山・東・伊野小学校に灘分小学校を加え、4校交流合宿を行うことになっています。

この合宿により4校の児童が向陽中学校の新一年生として、互いに交流と連携を深め、夢と希望をもって入学の日を迎えてくれるものと考えています。

木佐 宏



虚像長岡市政を斬る第4弾 職員の指揮命令系統が機能不全、 末期症状現況執行体制を糾弾する

問 まず最初に申しあげておくが、的を外さず、公僕として職責をまっとうすべく誠実な答弁を重ねて申しておく。

長岡市長売り物の3Sのスピードの影も形も無い、平田支所の執行体制は既に壊死状態「平成の世直し人」が指摘する、数十件の案件が長期放棄は黒目副市長の姿勢にある。

既に2年も経過、適切な対処も回答もされていない。職員の日常の勤務は漫然、課題への問題意識軽薄の一語に尽きる。平田支所の墮落した執行体制は、信じがたい不適切行為、湯谷川沿いの住宅床下浸水から土のう50袋を要望の住民への応答は「今、土のうが不足している。用意できなかったから電話するからコミセンまで取りにきてくれ。」住民は80歳ぐらいの老夫妻。これでは出雲市なんか要らない。

都市建設部長

平田支所への木佐議員の指摘、要望事項については、可能な範囲で随時対応、できるだけ速やかに回答をしたいと考えています。

5月11日の災害時の対応については、地区対策本部の一員である旧字単位の自治会長が、町内会長の意見を集約、消防団へ土のう設置を依頼されたところです。



幼稚園児の安全確保を長期放置する平田支所の怠慢事例

これからの地方自治の姿を 市長はどう考える

松村 豪人



市長

問 本市では、平成24年度に向け、自治基本条例の制定の準備が進められている。鳥取市では、市庁舎の移転新築の問題で、市民団体からのこの是非を問う直接請求が、市議会で否決される結果となった。住民意思を市政に適正に反映させることの難しさを実感した。市長の感想は。

また、本市では常設型の住民投票制度という、住民意思を問う第3の道の検討が進んでいる。議会と首長の二元代表制のなか、執行部と議会のあり方について、市長の所感は。なぜ、本市において自治基本条例が必要なのか。

多くの市民が関心を寄せる案件について、住民意思をどう反映していくかは市長、議会の重要な責務です。住民への情報提供、参画のあり方などを検討します。また、本市では、執行部と議会の二元代表制は適切に機能していると感じます。常設型の住民投票制度は、大規模施設の建設、環境問題など市の将来を左右する案件について、住民意思を確認していく手段と考えます。

自治基本条例をまちづくりの最も基本的なルールとしたいと考えます。

学校における「原発学習」の 必要性を求めて

小村 吉一



問 今まで、原子力発電などの学習はどのように行われていたのか。

「わくわく原子力ランド」、中学校には、「チャレンジ原子力ワールド」という副読本を1校に一冊ずつ配布をしました。

教育部長
国は、平成22年2月、小学校には

それなどにより原子力発電などの学習を行った学校は、小学校20校、

中学校11校です。

問

この副読本には、「大きな津波が遠くから襲ってきたとしても、発電所の機能が損なわれないうように設計しています。さらに、これらの施設は想定されることよりもさらに十分な余裕を持つようにされています」と、記述されている。どのように思うか。

教育部長

事故が起きたので、この記載は、誤っていると思いました。

問

この冊子について、国から回収や謝罪などがあったのか。

教育部長

回収や通知などの指示はありませんでした。

地域振興の鍵を握る 出雲縁結び空港

問

これからの出雲市の発展のため、出雲縁結び空港整備は積極的に進めていく必要がある。

- ① 利用者に対する利便性の向上策
- ② 出雲市の玄関口として出雲市らし

問

今後、「原発学習」をどのように行う考えなのか。

教育部長

子どもたちや保護者、市民の皆さんの関心が高いと認識しています。今後、国・県の動向を踏まえ、環境問題やエネルギー問題の学習と関連させながら、適切に指導する考えです。



文部科学省配布の「原発学習」副読本

飯塚 俊之



い 景観形成の整備

③ 出雲市の航空対策について伺う。

総務部長

① (1) 出雲市としては、利用者の利便性向上の観点から、空港ターミナルビル正面にある第1駐車場の立体化

を島根県に要望していきます。

(2) 21世紀出雲空港整備利用促進協議会で、特に島根県東部を中心に利用促進策を積極的に展開しています。

ただ松江市の方には、米子空港と2つの選択肢があり、そこをどのように取り込むのか大きな課題となっています。

② 空港内には縁結びや出雲をイメージした水引や雲のオブジェなどが設置されています。また東駐車場からの歩道には、地元産かわらを使用し周辺の景観に配慮したものになっています。

市長

③ 今年JALに申し入れた割引制度・機材の中型機化・大阪便のダイヤの見直しなど具体的に改善された

市営住宅の入居は スピーディーに

問

現在、市営住宅の入居申し込みを行うと、受付期間が奇数月の上旬の2週間。抽選会は偶数月の上旬で、抽選月の下旬に入居の予定となる。入居当選者は希望した日から約2か月待たなければいけない。なぜ随時入居できないのか。また、第1希望住宅しか受け付けていない。近くに空家があり、抽選で外れた場合、第2、第3希望も受け付

事項があります。取り組むべき課題は多々ありますが、国際線や格安航空会社の誘致などさまざまな角度から検討します。



更なる飛躍が期待される出雲縁結び空港

坂根 守



けるように改めるべきと思うが、市長の考えを伺う。

都市建設部長

平成20年10月から登録制による随時入居方式を改めて、県や松江市と同様に、公開抽選制による選考方法に切り替えました。抽選会を2か月に一度としているのは、募集から入居手続き完了まで所要の調査を必要

とするためです。募集締め切り後、申込者の収入状況や当選者の連帯保証人の確保など、入居手続き完了まで約2か月を要するためです。

第2、第3希望を受け付ける件は、市営住宅の管理を県住宅供給公社を管理代行者と定めて、募集から入居者決定を同公社に委託しているために、県営住宅の条件に合わせています。今後県住宅供給公社と早急に協議のうえ、改善に向け取り組んでまいります。

森林再生に向けて

問 松枯れ対策については、「出雲市松枯れ対策再検討会議」で検討されている。しかし、一方で森林は、孟宗竹の浸食被害やナラ枯れなどの問題も抱えている。総合的・包括的な指針を策定する必要があると考えるがいかがか。ナラ枯れ被害は一段と拡大し、事態は逼迫している。被害の状況、今後の取り組みについて伺う。

農林水産調整監

本市のナラ枯れ被害は、平成21年度に33本、昨年度は46本の被害木を確認しました。今年度については9月から調査を実施する予定です。昨



市営一の谷住宅(今市町)

板垣 成一



年度は、33本を立木燻蒸処理、今年度は25本を伐倒駆除しました。今後は、「島根県ナラ枯れ対策連絡会議」が示した被害対策基本方針に基づき対策を実施します。また、



ナラ枯れ被害木の状況

人家や公道に近い場所など市民の暮らしの安全確保に影響が想定される被害木を優先的に対象とします。

市長 林業が業として成り立つような仕

特別支援教育の現状と今後の取り組み

問 国及び県の特別支援学級在籍児童生徒数は、近年増加傾向にあるが特別支援学級の学級定数については改善が図られていない。本市における特別支援学級の開設状況と職員の配置状況、また通級指導教室の現状と職員の配置について伺う。

教育部長

本市における特別支援学級に在籍する児童生徒数は、平成23年5月1日現在228名、学級数は90学級となっております。特別支援学級の学級編成は法律により障がい種ごとに1学級8名を上限としています。

このような状況の中で、肢体不自由や自閉症など日常的に介助を必要とする児童生徒への支援として、本年度は13の小中学校に15名の特別支援介助者を配置しました。今後も児童生徒の実態や学級の状況をふまえて、特別支援介助者の適正な配置に努めます。

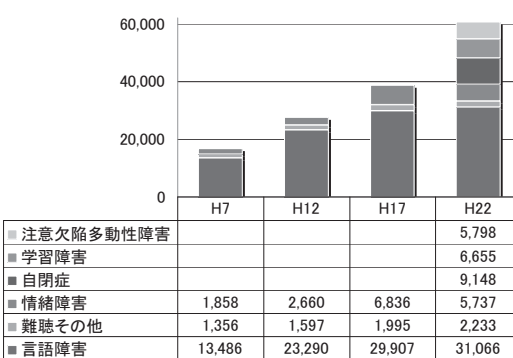
組みづくりをしなければ、人が山に入る事ができません。森林再生のための総合的な見地からの抜本的な取り組みが必要だと思っています。

山代 裕始



また、通級指導教室に在籍する児童生徒数も増加傾向にあり、本市では、8室の通級指導教室を開設するとともに、通級指導ヘルパーおよび通級指導助手を配置しています。今後も引き続き県に対して通級担当教員の増員を要望するとともに、担当者の資質向上を図りながら、通級指導教室の充実に努めていきます。

通級による指導を受けている児童生徒数の推移(障害種別 公立小中学校合計)



※各年度5月1日現在
 ※「難聴その他」は難聴、弱視、肢体不自由及び病弱・身体虚弱の合計
 ※「注意欠陥多動性障害」及び「学習障害」は、平成18年度から新たに通級指導の対象として学校教育法施行規則に規定(併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示)平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級指導教室にて対応
 ※文部科学省ホームページの資料のデータを用いて作成

今回、環境経済常任委員会は、観光・環境・健康をキーワードに、3つの省庁と株式会社日立製作所で先端の政策などを視察しました。

経済産業省資源エネルギー庁の省エネルギー・新エネルギー部の新エネルギー対策課では、出雲市が検討している大規模太陽光発電（メガソーラー）の可能性について理解を深めるため、再生可能エネルギーの「固定価格買取制度」の概要を聞きました。

来年7月にスタートするこの制度は、政府が決める買取価格で、電力会社が一定期間、一定の価格で買い取るよう義務付けています。そして買い取る費用は、全国一律となるよう賦課金という形で、使用量に応じて電気を利用した皆さまに負担いただくものです。

風力、火力、地熱、中小水力よりも発電コストが高い太陽光発電が進むと同時に、賦課金にて家庭での負担が生じる点で、市民への理解が必要です。事業者は公共団体ではなく民間での取り組みである点など、今後の政策を見極める必要を強く感じました。

（萬代輝正 記）



資源エネルギー庁での調査

再生可能エネルギーの動向

環境経済委員会

10月3日～10月5日

採決の結果

番号	件名	審議結果	賛成	反対
平成23年度(2011)第3回臨時会				
議第 27号	土地の取得について(出雲医療看護専門学校用地)	原案可決	25	5
議第 28号	財産の無償貸付について(出雲医療看護専門学校用地)	原案可決	25	5
平成23年度(2011)第4回定例会				
推第 3号	出雲市農業委員会委員の推薦について(福間勉氏)	推薦	30	0
推第 4号	出雲市農業委員会委員の推薦について(米山広志氏)	推薦	29	0
推第 5号	出雲市農業委員会委員の推薦について(福代秀洋氏)	推薦	29	0
推第 6号	出雲市農業委員会委員の推薦について(多々納剛人氏)	推薦	29	0
議第 29号	平成23年度(2011)出雲市一般会計第3回補正予算	原案可決	31	0
議第 30号	平成23年度(2011)出雲市簡易水道事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第 31号	平成23年度(2011)出雲市下水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	31	0
議第 32号	平成23年度(2011)出雲市企業用地造成事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第 33号	出雲市の休日定める条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 34号	出雲市貸付金の返還債務の免除に関する条例	原案可決	31	0
議第 35号	出雲市大社水産物荷捌所の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第 36号	工事請負契約の締結について(有原住宅(第2期)建築工事)	原案可決	29	2
議第 37号	土地の取得について(平田消防署庁舎移転用地)	原案可決	30	1
議第 38号	土地の処分について(株式会社山陰一畑クッキング工場用地)	原案可決	30	1
議第 39号	農業担い手法人化促進資金の返還免除について	原案可決	30	1
議第 40号	新たに生じた土地の確認について	原案可決	30	1
議第 41号	町及び字の区域の変更について	原案可決	30	1
議第 42号	市道路線の廃止について	原案可決	30	1
議第 43号	市道路線の認定について	原案可決	30	1
議第 44号	21世紀出雲「神在月」文化振興条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 45号	出雲市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 46号	出雲市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 47号	出雲市一般職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 48号	出雲市一般職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1

採決の結果

番 号	件 名	審議結果	賛成	反対
議第 49号	出雲市一般職員の服務宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 50号	出雲市一般職員の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 51号	出雲市一般職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 52号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 53号	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 54号	出雲市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 55号	出雲市土地開発基金条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 56号	出雲市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 57号	出雲市消防団条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 58号	出雲市防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 59号	21世紀出雲市青少年ネットワーク条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 60号	出雲市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 61号	湖西斎場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 62号	出雲市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 63号	出雲市文化財保護審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 64号	出雲市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 65号	出雲市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 66号	出雲市農業集落排水施設使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 67号	出雲市支所設置条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 68号	出雲市地域自治区の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 69号	出雲市コミュニティ消防センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 70号	出雲市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 71号	出雲市立保育所設置条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 72号	出雲市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 73号	出雲市立幼稚園条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 74号	出雲市立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 75号	出雲市スポーツ施設条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 76号	出雲市ごみ処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 77号	出雲環境センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 78号	出雲市共同墓地等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 79号	出雲市立図書館及び出雲市立平田学習館設置条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 80号	出雲市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 81号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 82号	出雲市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 83号	出雲市定住促進住宅駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 84号	出雲市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	1
議第 85号	出雲市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	29	2
議第 86号	出雲市普通公園条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 87号	出雲市表彰条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 88号	出雲市名誉市民条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 89号	出雲市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 90号	出雲市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 91号	出雲市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 92号	出雲市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 93号	出雲市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 94号	出雲市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 95号	職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 96号	出雲市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 97号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0

採決の結果

番号	件名	審議結果	賛成	反対
議第 98号	出雲市財政調整基金条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第 99号	出雲市減債基金条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第100号	出雲市税条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第101号	地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第102号	出雲市行政財産使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第103号	出雲市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第104号	出雲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第105号	出雲市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第106号	出雲市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第107号	出雲市介護給付費準備基金条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第108号	出雲市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第109号	出雲市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第110号	出雲市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第111号	出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第112号	出雲市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第113号	出雲市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第114号	出雲市福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第115号	出雲市社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第116号	出雲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第117号	出雲市保育所の保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第118号	出雲市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第119号	出雲市立幼稚園、小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第120号	出雲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第121号	出雲市飲料容器及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第122号	出雲市文化財保護条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第123号	出雲市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第124号	出雲市普通河川道路等管理条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第125号	出雲市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第126号	出雲市公共下水道事業受益者負担及び受益者分担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第127号	出雲市農業集落排水事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第128号	出雲市斐川地域防災行政無線の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第129号	出雲市高速バス待合所の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第130号	出雲市斐川社会福祉センター四季荘の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第131号	出雲市斐川健康福祉センターまめなが一番館の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第132号	出雲市斐川地域学童クラブの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第133号	出雲市公民館の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第134号	出雲市の農業委員会の設置及び選挙による委員の定数に関する条例	原案可決	31	0
議第135号	斐川文化会館の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第136号	荒神谷博物館及び荒神谷史跡公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第137号	原鹿の旧豪農屋敷の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第138号	アクティビカワの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第139号	出雲市斐川環境学習センターの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第140号	出雲市斐川企業化支援センターの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第141号	出雲市斐川企業化支援貸工場の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第142号	出雲市斐川地域における企業立地促進に関する条例	原案可決	29	2
議第143号	出雲市道の駅湯の川の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第144号	出雲いりすの丘公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第145号	ひかわ美人の湯の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第146号	出雲市斐川農畜産物等加工体験販売施設の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0

採決の結果

番 号	件 名	審議結果	賛成	反対
議第147号	出雲市直江一式飾り館の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第148号	出雲市湯の川温泉給湯条例	原案可決	31	0
議第149号	出雲市斐川農村ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第150号	出雲市今在家農村公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第151号	出雲市斐川農村自然公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第152号	出雲市斐川水稲等基幹施設の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第153号	出雲市斐川中央揚水機場管理条例	原案可決	31	0
議第154号	出雲市三本松公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第155号	出雲市特定用途制限地域内における建築物の制限に関する条例	原案可決	31	0
議第156号	字の区域の廃止及び町の区域の設定について	原案可決	31	0
議第157号	平成23年度(2011)出雲市一般会計第4回補正予算	原案可決	23	8
議第158号	平成23年度(2011)出雲市国民健康保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第159号	平成23年度(2011)出雲市後期高齢者医療事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第160号	平成23年度(2011)出雲市介護保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第161号	平成23年度(2011)出雲市簡易水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	31	0
議第162号	平成23年度(2011)出雲市下水道事業特別会計第3回補正予算	原案可決	31	0
議第163号	平成23年度(2011)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第164号	平成23年度(2011)出雲市浄化槽設置事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
認第 1号	平成22年度(2010)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第 2号	平成22年度(2010)出雲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第 3号	平成22年度(2010)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 4号	平成22年度(2010)出雲市診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 5号	平成22年度(2010)出雲市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 6号	平成22年度(2010)出雲市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第 7号	平成22年度(2010)出雲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 8号	平成22年度(2010)出雲市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 9号	平成22年度(2010)出雲市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 10号	平成22年度(2010)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 11号	平成22年度(2010)出雲市浄化槽設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 12号	平成22年度(2010)出雲市風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 13号	平成22年度(2010)出雲市ご縁ネット事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 14号	平成22年度(2010)出雲市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 15号	平成22年度(2010)出雲市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 16号	平成22年度(2010)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 17号	平成22年度(2010)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第 18号	平成22年度(2010)出雲市廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	29	2
認第 19号	平成22年度(2010)出雲市水道事業会計決算認定について	認 定	29	2
認第 20号	平成22年度(2010)出雲市病院事業会計決算認定について	認 定	31	0
請願 第3号	平成24年度(2012)私立認可保育所関係予算等についての請願	趣旨採択	23	1
請願 第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	採 択	31	0
請願 第5号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願(意見書提出)	採 択	31	0
請願 第6号	ポリオ不活化ワクチン早期導入など、予防接種改善に関する請願(意見書提出)	趣旨採択	29	2
陳情 第4号	稗原児童クラブの設置・運営に関わる支援措置についての陳情	採 択	31	0
陳情 第5号	平成23年度緊急要望事項及び出雲市農業振興施策確立に関する陳情	採 択	29	0
意見書第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	31	0
意見書第3号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	原案可決	31	0
【継続審査中の請願・陳情】				
平成22年度 請願 第9号	医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願	趣旨採択	29	2
請願 第1号	子ども・子育て新システムに反対し、子育て支援の充実を求める請願(意見書提出)	継続審査	28	3

議会活動 (8月1日～11月4日に開催された会議)

- | | |
|--|--|
| 8月 2日(火) 平成23年度第3回臨時市議会
全員協議会、議会運営委員会 | 9月20日(火) 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会 |
| 4日(木) 島根県市議会議員研修会 | 27日(火) 農政議員連盟研修会 |
| 5日(金) 観光産業振興特別委員会 | 28日(水) 議会運営委員会、斐川町内施設視察 |
| 9日(火) 環境経済委員会協議会 | 29日(木) 全員協議会
斐伊川・神戸川治水対策特別委員会協議会 |
| 23日(火) 島根県市議会議長会事務局長会議 | 30日(金) 循環型社会構築協議会 |
| 24日(水) 議会運営委員会 | 10月 6日(木) 中国市議会議長会支部長市事務局長会議 |
| 29日(月) 日韓交流議員連盟総会、理事会 | 12日(水) 広報委員会 |
| 30日(火) 環境経済委員会・観光産業振興特別委員
会合同協議会 | 17日(月) 理事会
原子力発電・新エネルギー調査特別委員会 |
| 31日(水)～9月29日(木)
平成23年度第4回定例市議会 | 18日(火) 島根県市議会議長会定期総会 |
| 31日(水) 議会運営委員会、全員協議会
文教厚生委員会・地域医療福祉協議会合
同協議会 | 20日(木) 広報委員会 |
| 9月 1日(木) 議会運営委員会 | 24日(月) 全国市議会議長会 第189回部会長会議
第2回財政基盤検討委員会 |
| 5日(月) 全員協議会 | 26日(水) 環境経済委員会協議会 |
| 7日(水) 地域医療福祉協議会、環境経済委員会協
議会(斐川町内企業視察) | 27日(木) 文教厚生委員会協議会 |
| | 28日(金) 広報委員会、議会運営委員会 |
| | 11月 1日(火) 全国市議会議長会基地協議会第76回理事会 |
| | 4日(金) 議会運営委員会、全員協議会 |

今後の
本会議の
予定

平成23年度 11月臨時市議会 日程(案) 11月21日(月) 本会議

平成23年度 12月定例市議会 日程(案)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 12月 5日(月) 本会議(開会、議案上程・説明) | 12月14日(水) 文教厚生委員会 |
| 7日(水) 本会議(一般質問・1日目) | 15日(木) 環境経済委員会 |
| 8日(木) 本会議(一般質問・2日目) | 16日(金) 建設水道委員会 |
| 9日(金) 本会議(一般質問・3日目) | 19日(月) 予算特別委員会 |
| 12日(月) 本会議(一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託) | 20日(火) 予算特別委員会 |
| 13日(火) 総務委員会 | 22日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会) |

10月1日、斐川町と合併し、面積が約17万5千平方メートルから約24万平方メートルに増加し、人口も約1万4千人から約2万人に増加した。また、市域の広がりにより、これまで以上に、市域の発展と、市民の生活の向上に努めることとなる。この機会に、市民の皆さんと、議会、議員、市職員の三者が、協力して、市の発展と、市民の生活の向上に努めることとなる。この機会に、市民の皆さんと、議会、議員、市職員の三者が、協力して、市の発展と、市民の生活の向上に努めることとなる。

(小村吉一 記)

編集後記

委員長 米山 広志
副委員長 松村 豪人
委員 飯塚 俊之
委員 小村 吉一
委員 川上 幸博
委員 廣戸 恭一
委員 勝部 順子
委員 山代 裕始
委員 多和 康司
委員 荒木 孝
委員 杉谷 利行
委員 長廻 利行
委員 宮本 享

広報委員会

委員長 米山 広志
副委員長 松村 豪人
委員 飯塚 俊之
委員 小村 吉一
委員 川上 幸博
委員 廣戸 恭一
委員 勝部 順子
委員 山代 裕始
委員 多和 康司
委員 荒木 孝
委員 杉谷 利行
委員 長廻 利行
委員 宮本 享

議会に関するお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/>
出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック
メール : gikai@city.izumo.shimane.jp